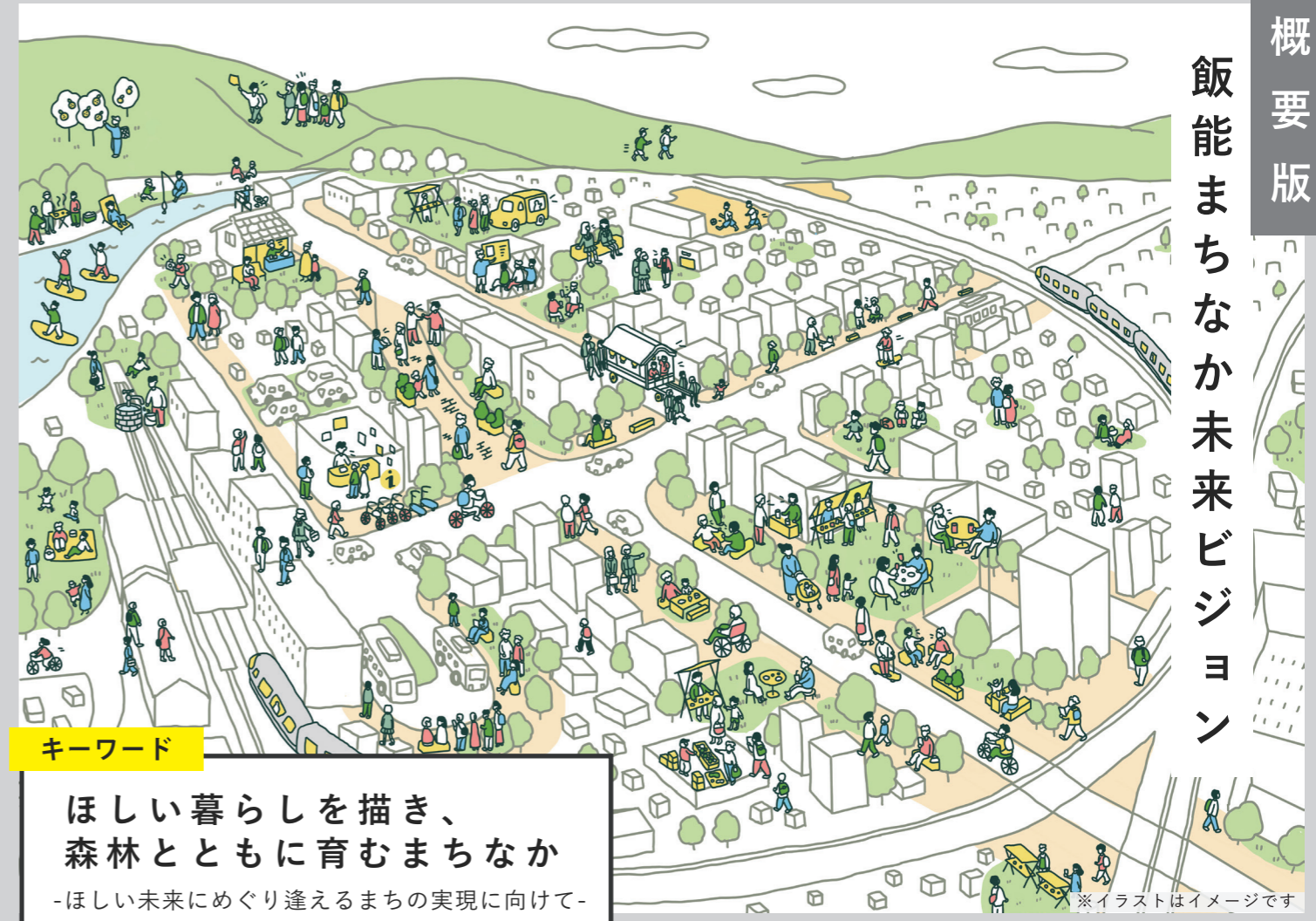


ビジョンを具現化していくには、市民・事業者・行政等が志を高く持ち、それぞれの役割を果たしながら推進する、対等な連携が必要となります。本ビジョンにおいても、三者が連携しながら取り組む体制を構築し推進していきます。

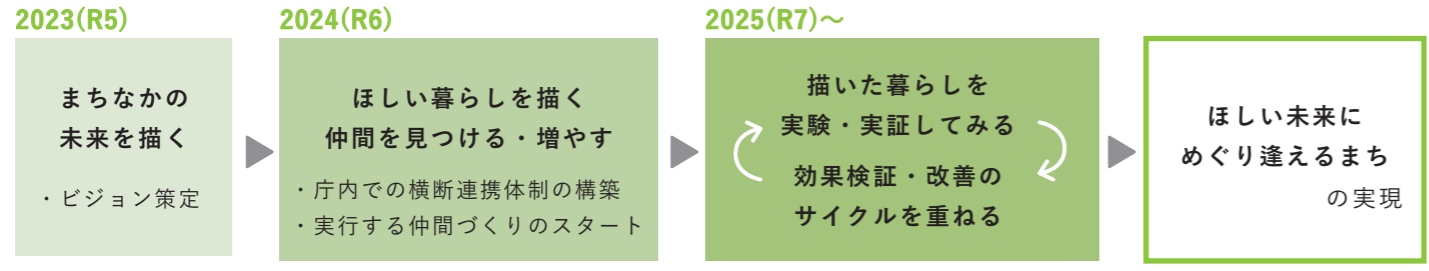


※1：関係市民：飯能市へ働きに来る人、観光に来る人、沿線住民、ファンなど  
※2：連携企業：飯能市と包括連携協定等を締結する企業・団体など



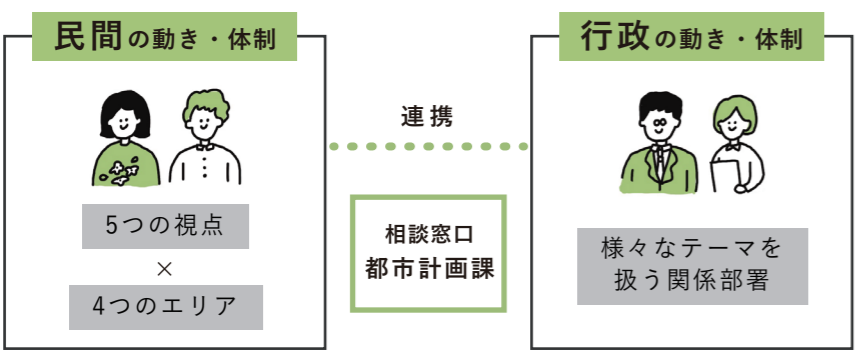
段階的なプロセスデザイン

ビジョン策定後、実現に向けて小さく実験・実証などのアクションを重ね、実感を得ながら着実に進めていくことで、ほしい暮らしを実現するための一歩となります。



公民連携の役割分担

ビジョンを実現するため、民間（市民・事業者等）・行政でそれぞれ実行体制を構築し、取組を進めます。



ビジョン全編



ビジョンの全編は上の二次元コードからご覧いただけます。

発行：2024年2月  
発行元：飯能市建設部都市計画課  
所在地：埼玉県飯能市大字双柳1番地の1  
電話：042-973-2111（代表）

飯能まちなか未来ビジョンとは

公民連携により飯能のまちなかに森林文化都市とまちなかウォークブルを段階的に実現するためのみちしるべです。

まちなかウォークブルとは

車中心から人中心のウォークブルなまちなかへ



- Walkable** 歩きたくなる
- Eye level** まちに開かれた1階
- Diversity** 多様な人の多様な用途、使い方
- Open** 開かれた空間が心地良い

出典元：国土交通省ホームページ

※飯能市は国土交通省が募集する「ウォークブル推進都市」にエントリーしました。

ビジョンの基本方針

- 1) まちに関わる私たちのみちしるべ**  
このビジョンは、まちなかに暮らし、関わる私たち自身が、それぞれの立場から主体的に関わり、豊かな暮らしを描き、育む「みちしるべ」です。
- 2) 暮らしの選択肢を市民・事業者・行政等で生み出す**  
まちなかには、市民・事業者・行政など、多様な人々が関わっており、それぞれが、ほしい暮らしを実現するための選択肢をつくり上げていくことが大切です。
- 3) 想像とアクションを楽しみビジョンを育む**  
ほしい暮らしを想像し、それに共感する仲間とともにアクションを重ね、新しい暮らしを楽しみながらビジョンを育てていきましょう。



# 3つのSTEP

## まちなかの未来を形成する 3つのSTEP

「安全に」「快適に」「楽しく」過ごしたくなるまちなかを実現するため、3つのSTEPを意識して「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を目指していきます。

### STEP 1

#### 安全な都市環境



自転車通行空間の整備、歩道拡幅、滞在空間創出

誰にとっても安全安心に歩き、過ごすことのできる都市環境を整備します。

### STEP 2

#### 快適な都市環境



沿道店舗と連動した道路空間の活用

快適に巡れる環境をつくるための交通施策、森林文化を感じられる街路、まちなかの整備などを推進します。

### STEP 3

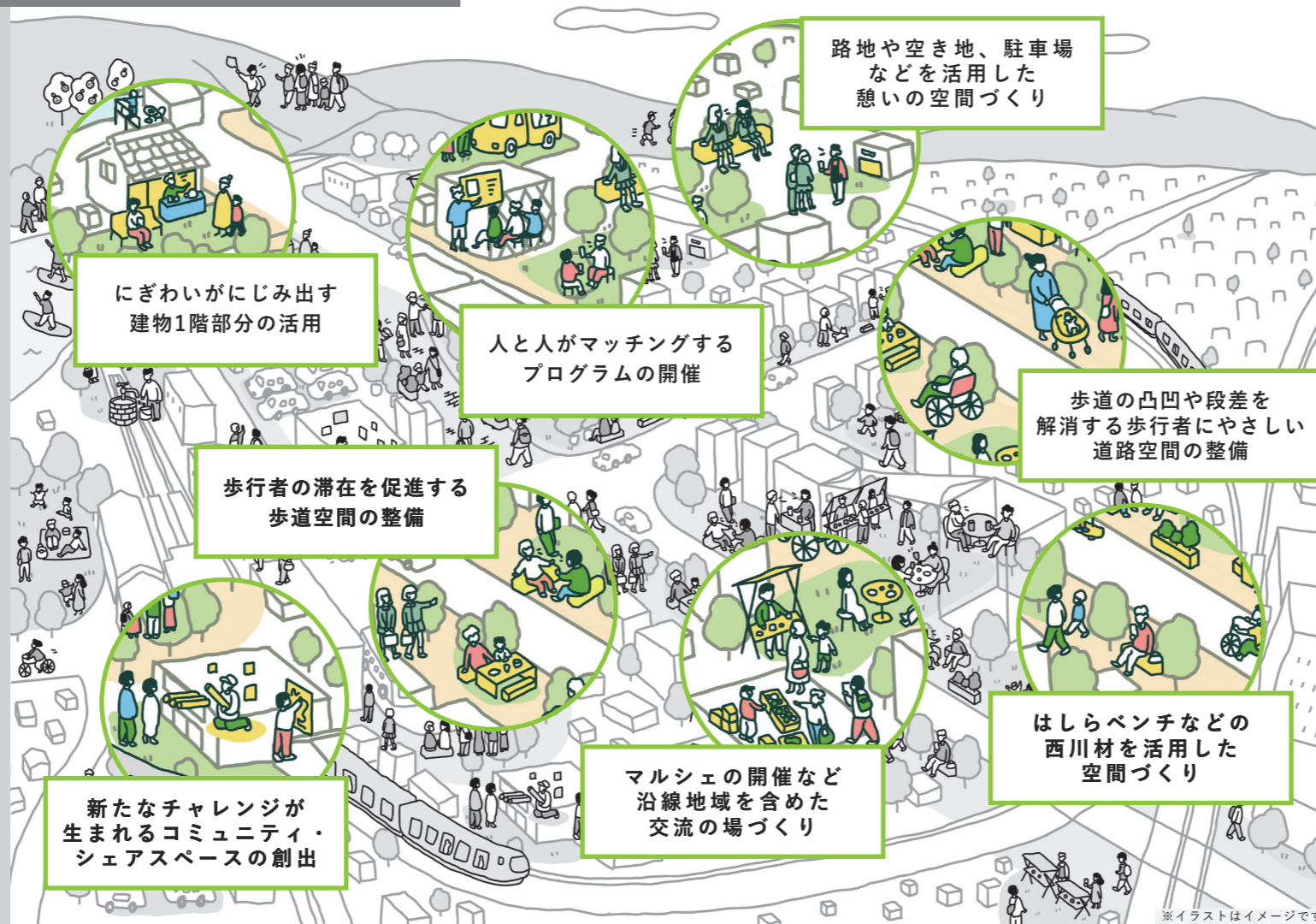
#### 多様な楽しさのある 居場所・目的地



清掃などまちなかでの交流プログラム

公共空間や空き地、空き家、空き店舗などの活用を促進し、日常的に訪れたい居場所・目的地を増やします。

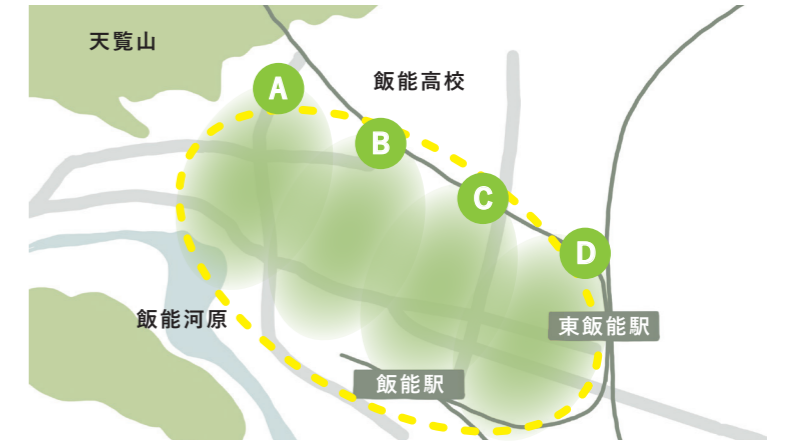
## アクションプランのイメージ



# 4つのエリア

## まちなかの4つのエリアの特徴と方向性

まちなかにもひとくくりにはできない多様な姿があり、その特徴に寄り添ってアクションプランを実施していくことが効果的です。4つのエリアごとに、それぞれの特性・潜在力とエリアの方向性をまとめました。



- A 飯能河原・文教エリア**  
豊かな自然が暮らしに溶け込む新たな公共を育む場
- B 横丁・飯高エリア**  
路地と小さな里わいが息づくまちなかの暮らしの舞台
- C 飯能駅前西エリア**  
歴史や文化、新たな兆しを予感させる飯能の玄関口
- D 飯能駅東エリア**  
飯能での暮らしの日常を彩る人中心のシンボルロード

# 5つの視点

## まちなかの未来を実現する5つの視点

まちなかの未来を実現する5つの視点をまとめました。それぞれの視点を相互に連動させることで、まちなかの暮らしを豊かにしていきます。

**視点01** 居心地が良く歩きたくなる都市環境の充実



座って寛げるようになった潜在性の高い歩道空間

まちなかでの活発な動きを支えるには、土台となる安全な都市環境の整備が重要です。身の危険を感じずに安全安心に利用することができるまちなかを目指し、まちへの適切な更新投資を継続的に実施します。

**視点02** 水と緑、歴史や文化を感じられる空間づくり



公園や広場などの憩いの空間

「森林文化都市 はんのう」を体現すべく、まちなかでも水と緑、歴史や文化を感じながら、生き生きと過ごせる空間づくりを目指します。

**視点03** まちなかで暮らす・働くにぎわいの創出



にじみ出しによる日常のにぎわい

多くの市民の暮らしと関わりのある駅や商業施設とまちなかを「住」「働」「遊」といった暮らしの要素でつなぎ、まちなかの暮らしが豊かで魅力的なものになることを目指します。

**視点04** 多様なつながりが生まれるきっかけづくり



沿線地域を含めた交流の場

多様な人が出会い、つながりが生まれることはまちなかの暮らしが豊かさを生み出す要素の一つです。市内・市外から魅力的な人が訪れ、交わる機会を生み出すことで、関係人口や定住者を増やすことにもつながっていきます。

**視点05** 柔軟なアイデアが会う共創の機会づくり



新たなチャレンジが生まれる場

新たなチャレンジが生まれると、変化の兆しが可視化され、その動きが連鎖してまち全体が活性化していきます。まちなかで多様なアイデアが生まれ、実行する際に共創が生まれるような機会をつくりたい。